

2018年4月23日

株式会社講談社

「週刊現代」編集長 鈴木 崇之殿

株式会社テレビ朝日

広報局長 長田 明

抗議文

当社は貴誌 2018年5月5・12日合併号 54 ページから 58 ページ掲載の「なぜか安倍が『上機嫌』の理由」「テレ朝女性記者は社内でも有名な『反安倍』一派」と題する記事（以下、合わせて「本件記事」といいます）について、貴誌および貴社に対し強く抗議するとともに、直ちに訂正し謝罪するよう求めます。

本件記事では、『『福田の辞任の後にするように』と同局の幹部と打ち合わせをしていたのは菅。』（P57）、『官邸とテレ朝の篠塚報道局長が、かなり細かく打ち合わせをしたんです。福田の辞任当日の夜、ぎりぎりで行うこと。翌日の朝刊に合わせて報道させ、効果を薄める。A子の上司がMなんだから、Mのせいになればいい、とね』（自民党幹部）』との記載があります。

しかし、当社は4月19日未明に行った記者会見の前を含めこれまでに、菅義偉官房長官をはじめ首相官邸と、福田財務次官のセクハラ問題に関して打ち合わせを行ったことは全くありません。本件記事の記載は、何ら根拠がないものであって、明らかに事実誤認であります。

また、この記事に先立ち、貴誌から当社広報部に対し事実を確認する質問は一切ありません。

このような事実誤認による本件記事の記載は、当社の名誉も著しく棄損するものであり、断じて看過できないものです。

以上に鑑み、当社はここに貴誌および貴社に対して、本件記事内容について嚴重に抗議するとともに、本件記事内容について直ちに訂正し謝罪することを求めます。

以上